



GRADUATE SCHOOL  
OF  
FUKUI  
PREFECTURAL  
UNIVERSITY  
2019

福井県立大学大学院



# 「知」の拠点に求められる、 高度な学習環境。

複雑化・高度化が進む現代。

多様なステージで専門的な知識や技術へのニーズが高まる中、

大学院には「知」の拠点としての大きな期待が寄せられています。

研究者の育成のほか、専門的職業人の養成、社会人の再教育に重きを置き、

新たに、古生物学、看護マネジメントを研究分野に加えるなど、社会の幅広い要望に応えます。

本学では3つの研究科を設置し、深度の高い大学院教育を行っています。



永平寺キャンパス：大学院 経済・経営学研究科、生物資源学研究科、看護福祉学研究科、経済学部、生物資源学部、看護福祉学部、学術教養センター、地域経済研究所、恐竜学研究所





小浜キャンパス：大学院 生物資源学専攻、海洋生物資源学専攻

## 経済・経営学研究科

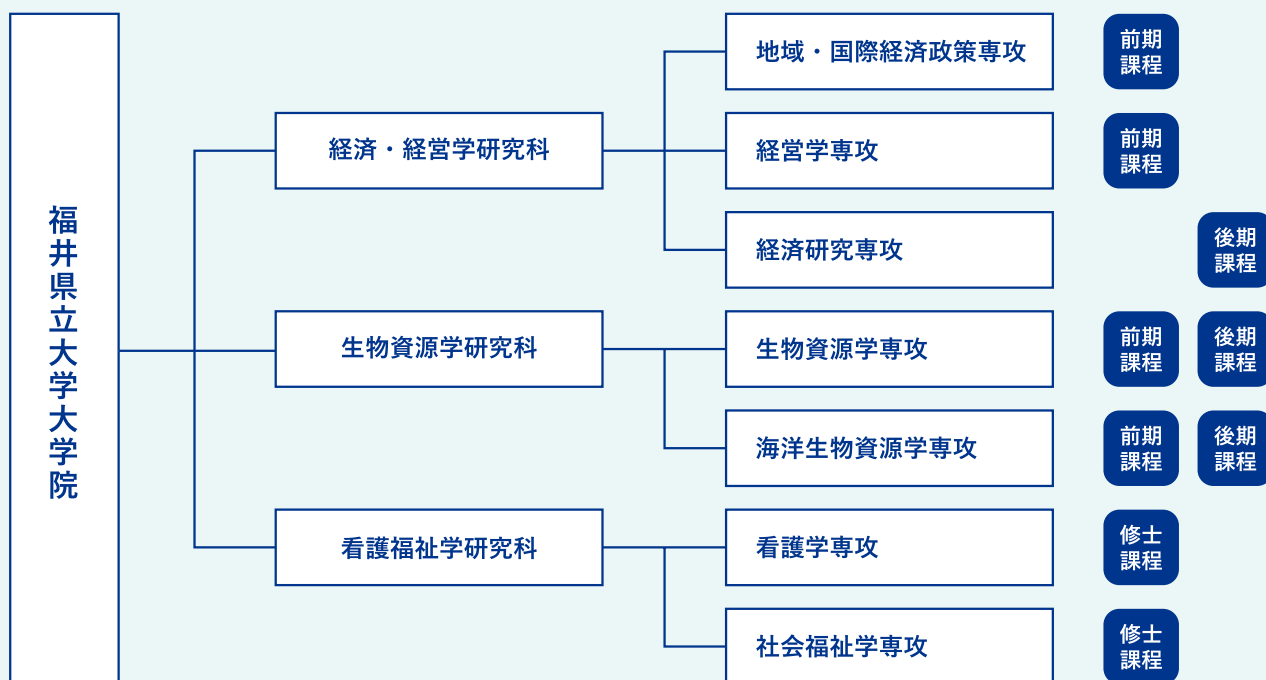
学部卒業後継続して学習・研究を目指す学生はもとより、広く社会人を受け入れて、グローバル化、ボーダーレス化の進展に実践に対応できる専門的知識・能力を有する人材を養成するとともに、より高度な学術研究を推し進めます。

## 生物資源学研究科

生物資源に関する諸領域において教育・研究活動を推進することにより、地域社会、日本および環日本海地域はもとより、世界の科学・産業・文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献します。

## 看護福祉学研究科

看護学と社会福祉学の両分野がそれぞれに高い専門教育・研究を目指しながら連携し、地域における保健・医療・福祉活動に貢献できる学際的研究を推進します。そして、高い教養と見識に裏付けられた専門知識・技術・研究能力を身につけ、高度な実践活動と豊かな創造力を基盤にして後進の教育・指導ができる看護・社会福祉分野のリーダーとなる人材を育成します。



# 経済・経営学研究科

## 地域・国際経済政策専攻

博士前期課程2年

経済学に基礎を置き、地域公共政策、国際経済の研究を行います。  
修士論文を書いて、経済学修士の学位を取得できます。

## 経営学専攻（ビジネススクール）

博士前期課程2年

経営学に基礎を置き、企業経営・管理の研究を行います。  
修士論文、またはプロジェクト研究に取り組み、経営学修士の学位を取得できます。

## 経済研究専攻

博士後期課程3年

理論と政策を一体化させた高度な学術研究を行います。  
博士論文を書いて、博士（経済学）の学位を取得できます。

### こんな需要に応えます

- 研究者を目指したい。
- 税理士を目指したい。
- 政策形成能力を身につけた自治体職員になりたい。
- 何が正しい経済政策かを判断できるようになりたい。
- 経済と社会について深い知識を身につけた教員になりたい。
- 現場の問題発見・問題解決能力を高めたい。
- キャリア・アップを図りたい。
- 経営各分野の専門的能力を高めたい。
- 技術者の経営能力を向上させたい。
- 定年退職を機にじっくりと体系的に学び直したい。



コンピュータ演習室  
24時間365日利用できる



地域公共政策研究  
本学教員・院生・終了生等による研究報告

## 私も博士（経済学）の学位をとりました

博士前期課程（地域・国際経済政策専攻）、博士後期課程（北東アジア経済研究）

おだに まさのり  
小谷 正典氏



私は、定年退職後、研究したいと考えてきたテーマを本格的に深めたいと思い、本学の経済・経営研究科に入学しました。前期課程（修士）2年、後期課程（博士）8年を経て、今年3月、「日本における近代的鉄道政策の形成過程」の研究で経済学博士の学位を授与されました。

大学院における研究は、研究が個人や地域のレベルにとどまらず、日本の研究現状を基礎においていること、さらに世界の研究に繋がっています。講義や演習のなかで、外国の先生方の視点から研究を検証することもできます。平日5限目（午後6時以降）や土曜日・日曜日に講義・演習があり、24時間利用可能な研究室・演習室が用意されていたりと、退職後の人や仕事を持った社会人には好都合な研究環境です。退職後の研究には、いつでも中止できる安易さがともないます。研究を続けるために必要なことは、研究テーマが明確であること、継続する意思が強いこと、自身の健康管理をすることです。



## 地域の企業・自治体で働く 社会人のためのカリキュラム

地域の需要にあわせた実践的な科目を充実

## 社会人が学びやすい時間割

夜間・土日開講科目多数

## ワークショップ科目

企業経営者や官公庁政策責任者等をゲストスピーカーに招いてのケーススタディ

## きめ細やかな指導

ゼミナールによる少人数教育

## 学問の理論的基礎を重視

経済学、経営学の理論に関する科目も充実

# カリキュラム

### 【前期課程】 地域・国際経済政策専攻

区分	科目
経済学基礎	経済理論(※) 経済政策特論Ⅰ 経済政策特論Ⅱ 財政学特論 人口特論 統計・計量Ⅰ 統計・計量Ⅱ 労働経済特論 日本経済史特論(※) ワークショップ(情報・応用経済)
地域公共政策	地域経済特論(※) 海洋ビジネス論 環境政策 食料・農業政策(※) 公共管理論(※) 公益事業特論 ワークショップ(地方行政論) ワークショップ(地域開発)
国際経済	国際経済特論 中国経済特論(※) ロシア経済特論(※) 東アジア経済特論(※) 開発経済特論 ワークショップ(経済の国際化と中国)
特別講義	経済・経営学特別講義Ⅰ 経済・経営学特別講義Ⅱ

看護福祉学研究科社会福祉学専攻の次の授業科目を履修することができます。

社会福祉	社会政策特論 社会保障特論 社会福祉管理・経営特論 社会調査特論 社会福祉環境特論
------	---

### 【前期課程】 経営学専攻

区分	科目
マネジメント	現代経営学(※) 経営財務戦略論 経営情報特論 環境経営論 生産管理・生産革新論(※) 経営戦略特論 実践コンサルティング論 企業経営のためのケース分析 現代日本企業論 経営品質論(経営品質向上プログラム) マーケティング戦略論(※) 人的資源管理特論(※) ワークショップ(ベンチャー企業・起業(創業)論) ワークショップ(社会システム論)
企業 会計・法務	会計学特論(※) 管理会計特論 企業の財務報告・監査 経営分析と企業評価・証券市場論 ビジネス法務 企業経営と法(※) 税法(※) 中小企業の会計と財務 会計制度論
国際関係	国際ビジネス論 国際比較経営論 グローバル経営戦略論
特別講義	経済・経営学特別講義Ⅰ 経済・経営学特別講義Ⅱ

(※) 演習開講科目  
(注) 年によって開講されない科目があります。

### 【後期課程】 経済研究専攻

研究分野	科目
応用 経済学研究	応用(マクロ・ミクロ)経済学特別演習Ⅰ 応用(マクロ・ミクロ)経済学特別演習Ⅱ 応用(マクロ・ミクロ)経済学特別演習Ⅲ
地域経営研究	地域経済論特別演習 財政・文化経済学特別演習 地域産業論(農業)特別演習 経済学史特別演習

(注) 年によって開講されない科目があります。

研究分野	科目
経営管理研究	会計学特別演習 現代経営学特別演習 労働経済論特別演習 現代日本企業論特別演習
北東アジア 経済研究	東アジア比較経済史特別演習 北東アジア経済特別演習 中国経済論特別演習 ロシア経済論特別演習



## 在学生の声



地域・国際経済政策専攻 まさき のぶ たけ  
**正木 伸武**さん

開学時から知る身として、県大には特別の親しみを覚えていました。今は食料・農業・農山村政策や協同組合の問題を考えるゼミで、1960年以降の農村集落の変化と今後について学んでいます。70代後半ながら、20代の学生さんと机を並べることは刺激的で心ときめく毎日です。1人の院生として誰にも遠慮せず自由に学んでいます。今後納得できる修士論文を書き上げることを目標に学びを深めていきたいと思います。



経営学専攻 た なか わたる  
**田中 渉**さん

金融機関に勤務。税法に興味があり、MBA取得も可能と聞き、勉強中です。学生は多業種で年齢も様々とあって議論も深まり面白いです。先生方の人柄も素晴らしく、丁寧な指導のもと、視野や思考力も広がり、常に刺激ある時間を過ごしています。勉強習慣も身に付き、日々、充実しています。

## 私も学位をとりました

修士（経営学） おくだ ひろゆき  
**奥田 博之**氏 会社経営者

会社を継承するにあたって経営学の知識を高めるため、開講したばかりのビジネススクールに思い切って入学しました。仕事と学業の両立は大変でしたが、高い意識を持って時間を有効に使うよう心がけることで、充実した毎日を過ごすことができました。実践的な講義も多く開講されており、今の仕事にはとても役立っていると思います。そして何より、様々な業種・キャリアを持った方々と学ぶことで、人脈が広がった事も大きな成果です。夜間・休日開講や長期履修制度もありますので、少しの勇気と志を持って挑戦してみてください。

修士（経済学）  
修士（社会福祉学） しだ よしあき  
**志田 佳明**氏

父親が南満州鉄道等に勤務していたころから戦間期の経済に関心を持ち、そこでの協同組合と日本国内における産業組合との比較をテーマとした研究をしました。放送大学に編入・卒業後、科目等履修生として入学前に、ある程度単位を取得していたことで、大学院では研究に集中することができました。指導教員には夜遅くまでマンツーマンで指導して頂くなど、大変さはありませんでしたが、充実した日々でした。超高齢化社会にあって、学歴社会ではなく、「学習歴社会」の到来を強く感じています。学びに遅すぎることはないと思いますので、思い立ったら行動に移して欲しいと思います。

修士（経営学） うえむら まこと  
**上村 誠**氏

私は、ビジネススクールの第1期生として入学しました。仕事と学業の両立は大変でしょう、と回りからよくいわれました。確かに、授業を受けるためにスケジュールを工夫したり、また休日の授業では家族を説得したりと大変ではありましたが、2年間は充実した時間を過ごすことが出来ました。また、同期のメンバーは様々な職業の方が志を持って入学しており、まさに「戦友」のような関係を持つことが出来ました。社会人になり、ビジネス経験をしたうえで再度学び直すことは、みずからの職業人生をさらに豊かにするものであると、強く実感しているところです。

修士（経営学） きどや えいじ  
**木戸屋 栄次**氏 専門職

現在、診療放射線技師として仕事をしていますが、同時に部下の人材育成を担う中間管理職でもあります。今日、信頼され安心できる医療が求められており、それらのニーズに適応した人材を育てるには、まず自分自身が知識を得ることが必要であると考えていました。私は3年生の短期大学卒でしたが、入学資格審査を通れば大学院で学べることを知り、入学を決意しました。長期履修制度や夜間・土日開講など、社会人でも仕事をしながら無理なく学べることも魅力でした。



## 修了生の論文テーマ

経済・経営学研究科では、幅広いカリキュラムと、個性豊かな教員があなたを待っています。過去の修了生の論文テーマを一部あげてみました。経済学や経営学、企業の管理や戦略の様々な分野に加え、病院、医療、農林業、非営利組織など、幅広いテーマに関して研究が行われてきました。最近の理論を極めることはもちろん、社会人経験の中で培った経験を体系的に検証し、現場で直面した問題をより深く掘り下げて解決するアプローチも重視しています。あなた自身の持つ研究の種を論文作成に結実させてみませんか。

## 修士論文

- 『企業におけるリスクマネジメントの意義』
- 『安定的市場での差別化戦略』
- 『外国人材の受入と地域経済の活性化』
- 『中国における医療保険制度の現状と課題』
- 『任天堂の企業価値評価』
- 『雑損控除に関する一考察』
- 『流通業の競争優位性構築に関する考察』
- 『高校簿記教育のあり方』
- 『医療施設におけるサービス風土が従業員と顧客に与える影響とその変化について』
- 『中国小売業の国際化推進に関する研究』
- 『現行消費税制度の課題』
- 『看護部門における人材育成・キャリア形成－民間企業ホワイトカラーとの比較』
- 『(勤務する)地元大規模病院の経営戦略』
- 『福井の食文化を核とした国際観光振興についての一考察』
- 『看護部門における人材育成・キャリア形成－民間企業ホワイトカラーとの比較』
- 『集落営農の問題点と今後の展開』
- 『電動バイクの効率性分析』
- 『事業承継税制に関する一考察－非上場株式の納税猶予制度を中心として－』
- 『6次産業化の意義に関する研究』
- 『中国E Cの現状と将来性について』
- 『観光施策としてのフィルムコミッションの可能性～福井市とあわら市の事例を中心として～』
- 『所得税における課税単位の問題点』
- 『財産評価基本通達6項の本来の機能に関する一考察』
- 『博物館の活動と運営の考察』
- 『集落営農の今後の展開に関する考察』
- 『中国自動車産業の現状とアライアンス』
- 『理念なき農協組織の事業と展望』
- 『ドラッグストア業界の競争優位』

## 指導教員

### 地域・国際経済政策専攻



研究科長／教授  
きたがわ たかし  
**北川 太一**

食料・農業政策

食料・農業・農山村政策、協同組合の社会的役割に関する研究。



教授  
おか としひろ  
**岡 敏弘**

経済理論、環境政策

放射能汚染対策の評価に関する研究。古典派価値論の研究。



教授  
チャン シン  
**唱 新**

東アジア経済特論

中国の産業と貿易、対外政策、東アジアとの経済関係に関する研究。



教授  
テイ カイトウ  
**鄭 海東**

中国経済特論

革命後の農村改革と中国の経済成長との関係に関する研究。



教授  
なかにし やすゆき  
**中西 泰之**

人口特論

トマス・ロバート・マルサスの経済人口学および人口思想の研究。



教授  
はらだ まさみ  
**原田 政美**

日本経済史特論

日本と西欧の市場と流通に関する歴史研究。



教授  
アンドレイ ベロフ  
**Andrey Belov**

ロシア経済特論

ロシア財政・地域経済に関する研究。



教授  
やまさき しげお  
**山崎 茂雄**

公共管理論

文化芸術を生かした観光や地域再生、学術コンテンツ開発の研究。



教授  
なん ほ まさる  
**南保 勝**

地域経済特論

地域経済、繊維や眼鏡枠などの地場産業、産学官連携に関する研究。

### 経営学専攻



教授  
うちかわ たけひこ  
**内川 毅彦**

税法

消費税を巡る諸問題に関する研究。



教授  
きたじま ひろつぐ  
**北島 啓嗣**

マーケティング戦略論

SCなど外部経営資源を利用する企業の競争優位の研究。



教授  
きの りゅうたろう  
**木野 龍太郎**

生産管理・生産革新論

企業間分業を通じたモノづくりの技術蓄積・発展に関する研究。



教授  
とくまゑ もとのぶ  
**徳前 元信**

会計学特論

企業や組織の透明性を高めるための利益情報作成に関する研究。



教授  
ふくやま りゅう  
**福山 龍**

企業経営と法

中小企業の経営と法に関する研究。



准教授  
とびた まさゆき  
**飛田 正之**

人的資源管理特論

企業における人材育成、キャリア形成に関する研究。



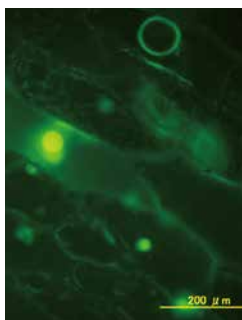
# 生物資源学 研究科

## 生物資源学 専攻

生物資源学専攻は、次の5つの専門種目で構成され、食料・生命・環境に関する基礎的研究を精力的に展開するとともに、実用化を目指した応用的研究も活発に行っています。

### ■ 分子生物学

生化学、分子生物学、分子細胞生物学の手法を用いて、高等植物細胞の諸機能を支える遺伝子やタンパク質の働きを解明することを目指しています。具体的には、高等植物が保持するシグナル情報伝達系、病害抵抗性、プログラム細胞死の仕組みを解明しています。更に、これらの成果を応用して新規植物資源の開発を試み、食糧分野や環境分野への貢献を目指しています。



### ■ 植物資源学

栽培植物およびそれに近縁の野生植物について、現地調査、採集材料・実験系統の遺伝分析を行うとともに、有用形質の発現機構を分子生物学的に解析し、その育種的利用を図っています。植物と環境の相互作用を生態学的、生理学的に究明するとともに、環境保全に配慮して植生を管理する方法や植物の機能性を高める方法を開発しています。



### ■ 分子機能科学

有用微生物の探索、微生物機能に関する基礎および応用研究を行い、微生物および酵素を応用した産業的有用物質の生産とその機能の開発を目指しています。各種食品成分が示す多彩な生理機能を動物個体や組織・細胞レベルで究明し、機能発現機構を解明するとともに、微生物酵素などを利用した機能性食品の創製を目指した基礎研究を行っています。



### ■ 応用生化学

生体機能の解明とその工学的応用に関する基礎研究として、タンパク質・酵素の立体構造解析、タンパク質工学を利用した機能改変、新規分子素子の設計および高感度分析法の開発、バイオセンサーやバイオ電池の開発、生物電気化学的手法を用いた生体膜モデル系の基礎研究とその応用に関する研究などを行っています。



### ■ 古生物学

化石を用いて生命進化や古環境復元などを究明することを目指しています。特に恐竜などの脊椎動物化石について野外調査を重視しながら、それらの分類学的、古生態学的研究をCTやコンピュータも使いながら進めています。



## 在学生の声



生物資源学専攻 古生物学専門種目 さかがみ りな 坂上 莉奈さん

幼少期から古生物に興味があり、研究設備が充実し、“恐竜王国”福井で研究できることに魅力を感じました。県大からそのまま進学しましたが別の分野の研究をしていたので、まずは古生物や地質についての基礎知識から学んでいます。脊椎動物の骨格について英語の教科書を読んだり、実際に野外で調査を行うなどしながら、多面的な知識を修得したうえで新しい観点から研究対象にアプローチしたいと考えています。



# カリキュラム

## 【前期課程】

### 基礎科目

《分子生物学》  
植物分子生物学  
応用分子細胞生物学  
分子生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
分子生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《植物資源学》  
遺伝資源学  
生物生産環境学  
植物資源学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
植物資源学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《分子機能科学》  
微生物機能学  
食品機能化学  
分子機能科学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
分子機能科学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《応用生化学》  
構造生物学  
生体機能分子工学  
応用生化学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
応用生化学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《古生物学》  
生物進化学  
地球環境史学  
古生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
古生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

### 専門科目

天然分子機能学  
生物物理化学  
保全植生学特論  
植物発生遺伝学特論

### 研究科共通の授業科目

分子進化学特論  
生命機能有機化学特論  
光合成特論  
生殖生物学特論  
動物遺伝子工学特論  
細胞培養工学特論  
食料・農業政策特論

## 【後期課程】

### 専門科目

《分子生物学》  
分子生物学特別演習  
《植物資源学》  
植物資源学特別演習  
《分子機能科学》  
分子機能科学特別演習  
《応用生化学》  
応用生化学特別演習  
《古生物学》  
古生物学特別演習

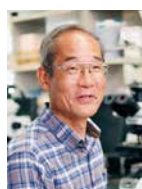
## 指導教員



教授  
いしかわ あつし  
**石川 敦司**  
高等植物の病原菌に対する抵抗性に関する研究。



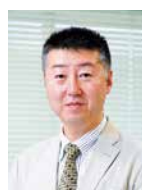
教授  
いわざき ゆきもと  
**岩崎 行玄**  
イネ3量体Gタンパク質シグナリングの研究。



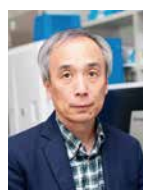
教授  
おおた しょうじ  
**大田 正次**  
作物と近縁野生種の遺伝的多様性と適応分化・栽培化に関する研究。



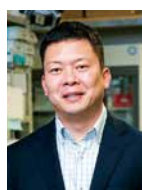
教授  
かたの はじめ  
**片野 肇**  
天然物を中心とした、物質の単離精製および分析法の研究。



教授  
きもと ひさし  
**木元 久**  
微生物を農業資材や機能性食品、医薬品に応用する研究。



教授  
なかした ひでお  
**仲下 英雄**  
生物的・非生物的ストレスに対する植物の適応機構に関する研究。



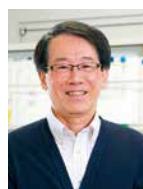
教授  
はまの よしみち  
**濱野 吉十**  
微生物が生産する天然有機化合物の生合成に関する研究。



教授  
ひび たかお  
**日井 隆雄**  
生体高分子の構造生物学と酵素高活性化などの工学的研究。



教授  
むらい こうじ  
**村井 耕二**  
植物の花芽形成の遺伝子の研究に基づいた農作物の遺伝・育種学に関する研究。



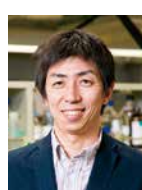
教授  
むらかみ しげる  
**村上 茂**  
農産物や食素材の機能性、特に生活習慣病の予防効果に関する研究。



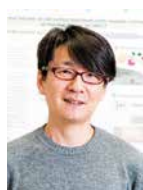
教授  
よしおか としひと  
**吉岡 俊人**  
種子発芽と種子春化の生態生理分子機構と地域環境保全の研究。



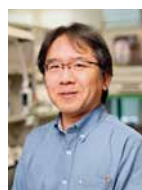
特任教授  
あづま よういち  
**東 洋一**  
日本とアジアの恐竜などの脊椎動物化石の発掘、分類学的研究。



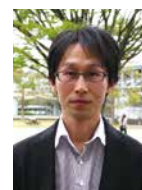
准教授  
いとう たかし  
**伊藤 崇志**  
抗老化作用、筋肉の衰えに対して有効な食品成分についての研究。



准教授  
いとう たかふみ  
**伊藤 貴文**  
酵素・タンパク質の機能解析とその応用に関する研究。



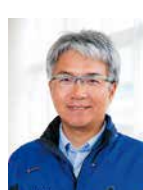
准教授  
かとう ひさはる  
**加藤 久晴**  
植物の病害抵抗性および植物病原菌の病原性に関する研究。



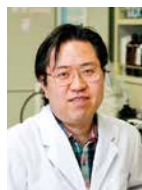
准教授  
かわべ そういちろう  
**河部 壮一郎**  
鳥類を含む恐竜や哺乳類の脳形態に関する研究。



准教授  
しおの かつひろ  
**塩野 克宏**  
環境ストレス(主に過湿と乾燥)に対する植物の適応機構の研究。



准教授  
しばた まさてる  
**柴田 正輝**  
福井県およびタイや中国で発掘した鳥類の研究。



准教授  
たかはし まさかず  
**高橋 正和**  
農産物の美味しさと、抗炎症性など健康機能成分に関する研究。



准教授  
まつおか よしひろ  
**松岡 由浩**  
栽培植物の進化の研究。



准教授  
みうら こうたろう  
**三浦 孝太郎**  
イネの遺伝子を効率よく利用し、収量増加を目指した育種の研究。



准教授  
みずぐち あき  
**水口 亜樹**  
農業と生態系との関わりに関する研究。雑草の生き方の研究。



准教授  
みやた かずのり  
**宮田 和周**  
恐竜時代とその後の哺乳類の系統進化や生層序に関する研究。



講師  
まるやま ちとせ  
**丸山 千登勢**  
放線菌によって生産される天然物の生合成の研究。

# 生物資源学研究科

## 海洋生物資源学専攻

海洋生物資源学専攻は、次の5つの専門種目で構成され、海洋環境の保全と制御、海洋生物資源の育成、食糧等への有効利用に関する研究を行っています。

### ■ 水圏生物学

水圏の一次生産を担う藻類を対象に、生物多様性や適応進化、形態形成や生活環の制御機構、独立栄養や繁殖に関する生理生態などの解明ならびにその応用に関する教育・研究を行っています。



### ■ 海洋生物培養学

水圏生物の増養殖技術と多様性保全の新たな展開を目指し、海洋生物学、海洋動物生理学、遺伝学、ゲノム科学、生物地球化学、水圏生態学、行動学、水産資源学、海洋動物培養学、水族病理学、などを基礎として、理論的および応用的な教育・研究を行っています。



### ■ 海洋生態環境学

海洋・湖沼などの水圏生態化学・微生物学および海洋環境物理学・水理学などを基礎とし、生物活性と物理的環境形成の相互作用ならびにその応用に関する教育・研究を行っています。



### ■ 海洋生物資源利用学

海洋生物資源を食料など生命関連素材として高度利用するため、それらに含まれる各種生体成分の構造と機能の解明ならびにその応用に関する教育・研究を行っています。



### ■ 海洋社会科学

食料産業としての水産業の産業的役割を重視し、漁業管理や食品の流通、海洋レジャーなど海洋と水産資源との利用調整の問題について、社会科学の立場からの教育・研究を行っています。



私も博士（生物資源学）の学位をとりました



海洋生物資源学専攻

まえかわ すずか  
前川 鈴香さん

県外大学での微生物研究をさらに深めたくて大学院を模索中、県大の先生とのご縁で入学しました。教育レベルや設備の質が高く、三方五湖や若狭湾など、フィールドも万全。特に先生との距離が近く、すぐに相談・協力でき、とても心強かったです。納得いくまで研究したい私には、最高の環境でした。



# カリキュラム

## 【前期課程】

### 基礎科目

《水圏生物学》  
藻類学  
水圏生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
水圏生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《海洋生物培養学》  
海洋生物培養学  
海洋生物育成学  
海洋生物培養学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
海洋生物培養学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《海洋生態環境学》  
海洋生態工学  
海洋微生物生態学  
海洋生態環境学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
海洋生態環境学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《海洋生物資源利用学》  
生物資源利用学  
食品機能化学  
海洋生物資源利用学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
海洋生物資源利用学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

《海洋社会科学》  
海洋社会科学  
海洋社会科学専攻演習Ⅰ・Ⅱ  
海洋社会科学専攻実習Ⅰ・Ⅱ

### 専門科目

専門特別講義Ⅰ～Ⅵ  
水圏植物学特論  
海洋生物培養学特論Ⅰ・Ⅱ  
海洋生態環境学特論Ⅰ・Ⅱ  
海洋生物資源利用学特論Ⅰ・Ⅱ  
水産政策学特論  
海洋ビジネス論  
水圏遺伝資源学特論

### 研究科共通の授業科目

分子進化学特論  
生命機能有機化学特論  
光合成特論  
生殖生物学特論  
動物遺伝子工学特論  
細胞培養工学特論  
食料・農業政策特論

## 【後期課程】

### 専門科目

《水圏生物学》  
水圏生物学特別演習

《海洋生物培養学》  
海洋生物培養学特別演習

《海洋生態環境学》  
海洋生態環境学特別演習

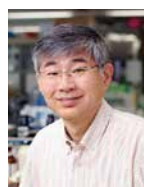
《海洋生物資源利用学》  
海洋生物資源利用学特別演習

《海洋社会科学》  
海洋社会科学特別演習

## 指導教員



研究科長／教授  
よこやま よしひろ  
**横山 芳博**  
海洋生物に含まれる健康機能性成分に関する研究。



教授  
おおいずみ とおる  
**大泉 徹**  
魚肉タンパク質の利用を中心とした水産物の加工技術に関する研究。



教授  
おおたけ しん や  
**大竹 臣哉**  
海洋環境の保全および漁場環境の創出に関する研究。



教授  
かなだ あつし  
**兼田 淳史**  
海域の流動構造やその変動特性に関する研究。



教授  
かわはら しょういちろう  
**河原 昌一郎**  
漁業を中心とした海洋利用、海洋の国際秩序に関する研究。



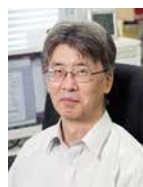
教授  
こんどう りゅうじ  
**近藤 竜二**  
海洋や湖沼などの水圏環境の微生物の生態に関する研究。



教授  
せと まさふみ  
**瀬戸 雅文**  
藻場、砂泥域、養殖場における生息場の造成・管理に関する研究。



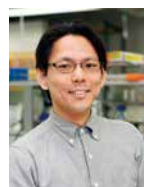
教授  
とみなが おさむ  
**富永 修**  
沿岸域の生物生産・生物多様性を陸域生態系とのつながりから研究。



教授  
みずた しょうし  
**水田 尚志**  
魚介類コラーゲンの有効利用に関する研究。



准教授  
ききた ともゆき  
**小北 智之**  
魚類における適応と種分化の生態ゲノミクスに関する研究。



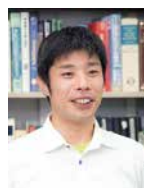
准教授  
さとう しん や  
**佐藤 晋也**  
微細藻類の多様性やゲノム進化に関する研究。



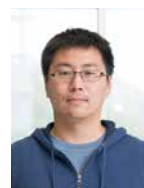
准教授  
すえたけ ひろあき  
**末武 弘章**  
魚類の免疫機構などの魚類の体のしくみに関する研究。



准教授  
すぎもと りょう  
**杉本 亮**  
水圏の物質循環に関する研究。



准教授  
たか お よしたけ  
**高尾 祥丈**  
海産真核微生物・水圏ウイルスの生理・生態学的研究。



准教授  
たきざわ ふみ お  
**瀧澤 文雄**  
魚類の病原体や微生物叢に対する免疫応答に関する研究。



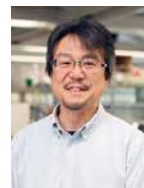
准教授  
たほら だいすけ  
**田原 大輔**  
淡水カジカ類の生理生態学的研究。アラレガコに関する研究。



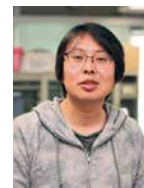
准教授  
ひがしむら れい こ  
**東村 玲子**  
ズワイガニの世界的なフードシステムと漁業管理に関する研究。



准教授  
ほそい まさとみ  
**細井 公富**  
水産貝類が蓄積する各種成分についての生理学的・食品学的研究。



准教授  
まつかわ まさひと  
**松川 雅仁**  
冷凍すり身・エビ類・県特産魚肉加工品の品質改良に関する研究。



准教授  
よしかわ しん や  
**吉川 伸哉**  
藻類の形態形成及び、生理学に関する研究。



講師  
かた おか たかふみ  
**片岡 剛文**  
環境中の物質循環に関わる微生物を対象とした生理・生態学的研究。

# 看護福祉学 研究科

## 看護学専攻

質の高い包括的なケアをめざして

### 目 標

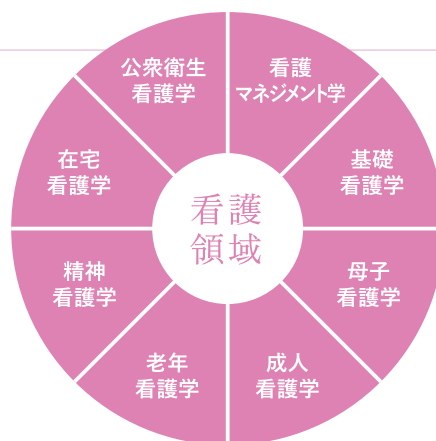
- 環境の変化に伴い多様化するヘルスケアニーズに応じて発展的・創造的に看護を実践する能力を養成する。
- 人間としての尊厳と権利を尊重した倫理観に基づく質の高い看護を提供する能力を養成する。
- 看護学発展の長期的展望に立ち、看護実践上の問題や課題の解決に向けた研究能力を養成する。
- 保健・医療・福祉分野の専門職や他職種と連携・協働し、リーダーシップを発揮する能力を養成する。
- ヘルスケアシステムの変革に対応し、組織を管理運営できるマネジメント能力を養成する。

### 特 徴

看護学専攻は看護マネジメント学、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母子看護学、精神看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学の8領域を設けています。

看護マネジメント学領域は日本看護協会の認定看護管理者審査要件を満たしています。

養護教諭一種免許状を有している人は、「養護教諭専修免許状」を取得できます。



## 在学生の声



看護学専攻 看護マネジメント学領域 ふくだ ひろこ  
**福田 裕子さん**

看護師長として働く中で現状に行き詰まり、次のステップに進むため「看護マネジメント学」を専攻しました。現在は、看護管理を系統立てて学び直しながら働くことに挑戦中です。看護師長の業務は極めて広範で、求められる能力も高いですが、看護福祉学のみならず他領域からも学びを深めています。これからの看護を担う看護師の人材育成に役立つ研究をしたいと考えています。



## カリキュラム

### 共通科目

精神健康学特論  
環境保健学特論  
保健・福祉研究方法論  
コミュニケーション特論

### 看護学専攻共通科目

看護理論	看護政策論
看護教育論	看護倫理学
看護研究方法論	看護管理論

### 経済・経営学研究科の授業科目

経済理論	現代日本企業論
日本経済史特論	人的資源管理特論
ワークショップ (地方行政論)	

### 専攻科目

#### 《看護マネジメント学》

看護マネジメント学特論  
看護マネジメント学演習  
看護マネジメント学特別研究

#### 《基礎看護学》

基礎看護学特論  
基礎看護学演習  
基礎看護学特別研究

#### 《成人看護学》

成人看護学特論  
成人看護学演習  
成人看護学特別研究

#### 《老年看護学》

老年看護学特論  
老年看護学演習  
老年看護学特別研究

#### 《母子看護学》

母子看護・保健学特論Ⅰ  
母子看護・保健学特論Ⅱ  
母子看護学演習Ⅰ  
母子看護学演習Ⅱ  
母子看護学特別研究

#### 《精神看護学》

精神看護学特論  
精神看護学演習  
精神看護学特別研究

#### 《在宅看護学》

在宅看護学特論  
在宅看護学演習  
在宅看護学特別研究

#### 《公衆衛生看護学》

公衆衛生看護学特論  
公衆衛生看護学演習  
公衆衛生看護学特別研究

#### 《その他》

成人・老年保健学特論  
成人・老年保健学演習  
養護概説特論  
養護概説演習

## 指導教員



研究科長／教授

おおくぼ きよこ  
**大久保 清子**

基礎看護学、看護マネジメント学  
看護管理論、看護政策論

看護職の働き方が経営にどう貢献できるのか、明らかに  
していく研究。

ohkubo@fpu.ac.jp



教授

ありた ひろみ  
**有田 広美**

成人看護学  
看護倫理学

手術を受けた患者の睡眠に関する研究、がん看護およ  
び慢性期看護に関する研究。

arita@fpu.ac.jp



教授

おおかわ ようこ  
**大川 洋子**

母子看護学  
看護研究方法論

女性のライフスタイルに関連した健康評価に関する研究。

ohkawa@fpu.ac.jp



教授

かさい きょうこ  
**笠井 恭子**

基礎看護学  
看護理論

認知症高齢者の睡眠援助に関する研究。

kasai@fpu.ac.jp



教授

てらしま きよこ  
**寺島 喜代子**

老年看護学  
看護教育論

要介護が軽度な高齢者のQOLを維持するうえでの生活  
支援の在り方を縦断的に探る。

terasima@fpu.ac.jp



教授

なかに よしみ  
**中谷 芳美**

公衆衛生看護学

保健師の専門的技術・能力の質の向上と公衆衛生看護活  
動の評価に関する研究。

ynaka@fpu.ac.jp



教授

ひらい たかよし  
**平井 一芳**

環境保健学

地域や職域をフィールドとした予防医学、健康科学に関  
する調査・研究。

thirai@fpu.ac.jp



教授

ほんだ かずまさ  
**本田 和正**

基礎看護学

射乳反射の神経機構に関する研究。

kazhonda@fpu.ac.jp



教授

よねだ まこと  
**米田 誠**

環境保健学  
成人・老人保健学

老化・疾病におけるミトコンドリア障害と酸化ストレスに  
ついての研究。

myoneda@fpu.ac.jp



准教授

あかがわ はるみ  
**赤川 晴美**

母子看護学

学生の看護実践能力を支援する教育的役割に関する研究。

hakagawa@fpu.ac.jp



准教授

さとう あや  
**佐藤 文**

老年看護学

浮腫を有する高齢者のスキンケア検討のための浮腫  
の皮膚特性に関する研究。

ayasato@fpu.ac.jp



准教授

なりた みつえ  
**成田 光江**

成人看護学

在宅医療・療養を軸とする全年代・全領域型の地域包括支  
援体制に関する研究。

narita@fpu.ac.jp



准教授

はせがわ こまこ  
**長谷川 小眞子**

精神看護学

精神科看護師のフィジカルアセスメント能力向上に関  
する研究。

hasegawa@fpu.ac.jp



准教授

ふしょう さなえ  
**普照 早苗**

在宅看護学  
看護理論

在宅看護を専門分野とし訪問看護・退院支援・他職種連携  
等を中心に研究。

sfutio@fpu.ac.jp



准教授

やまざき かよこ  
**山崎 加代子**

看護倫理学

救急に携わる看護職の臨床判断、災害に対する看護の備え。

yamazaki@fpu.ac.jp

# 看護福祉学 研究科

## 社会福祉学専攻

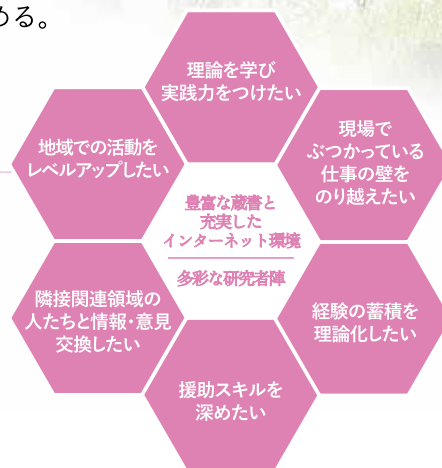
尊厳ある生のために

### 目 標

- 自由・平等・友愛の民主主義思想に基づいた教育・研究を行う。
- 人権を尊重する社会福祉実践・社会福祉政策に役立つ知識・技術・価値を追求する。
- 時代と社会のニーズに対応できる実践力を養う。
- 国際的動向を視野に入れた社会福祉学研究を行う。
- 地域における社会福祉の向上に資する専門職業人を養成する。
- 地域の社会福祉問題を解決するための研究能力と実践技術を高める。
- 個々人の生活の向上と社会の進歩に有用な思索を深める。

### 特 徴

社会福祉学専攻は、北陸で最初に開設された福祉系大学院です。本専攻では、社会福祉学の学問研究、社会福祉専門職の継続教育、社会人の生涯学習の場として広く門戸を開き、地域社会の福祉の向上をめざしています。これまでの修了生は、福祉、保健、医療、教育等多方面の分野において全国的に活躍しています。福祉をキーワードに多彩な領域の人々が集う環境の中で、教員とともに学術と格闘し、仲間たちと議論する一みなさんも、こうした日々を経験する中で、不思議な力が湧き、実力が養われていくのを実感されることでしょう。



### 履修【課程概要】

- 社会福祉の歴史・原理、制度・政策、方法・技術、各分野論、隣接科学、研究方法等々に関する講義・演習の科目履修とともに、社会福祉学に関する修士学位論文の作成に取り組みます。
- 修士論文を含め、30単位以上の科目履修が修了要件となります。このほか、研究報告ワークショップや中間発表会を院生や教員などが集い開いています。



### 在学生の声



社会福祉学専攻 おおつ なな 大津 奈々さん

4人の子育てをしながら、保育士をしています。医療サポートが必要な子どもたちへの取り組みの研究を深めたいと大学院の門を叩きました。仕事を終えてからの受講は正直辛いこともありますが、同じ社会人の仲間と支えあいながら頑張っています。魅力あふれる講義と新たな気付きに探求心はとどまるところを知りません。入学してよかったです。



## 修士論文タイトル(平成25年度～平成29年度)

「高齢者虐待対応における関係形成に関する研究関係形成が困難な養護者に対するソーシャルワーカーのアプローチ」/「日本のナイチンゲール 瓜生イワの業績とその意義-間引き・墮胎防止活動を中心に」/「所得と肥満に関する一考察-国際比較とアンケート調査を通して」/「重度知的障害者の意思決定のための支援」/「医療的ケアが必要な重症心身障害患者の地域生活を支える要件-ソーシャルワーク・アドボガシーを生かした相談支援」/「重度障害者の自立と介助保障に関する一考察-障害者運動と介助利用の生活実態からみる自立生活の保障について」/「慢性心不全患者の急性増悪に関わる環境因子とソーシャルサポートの基礎調査」/「スクールソーシャルワーカーの機能に影響を及ぼす要因-より機能していくために求められる能力の検討」/「介護現場において求められるリーダーシップの考察」/「我が国のソーシャルインクルージョンにおける介護者の位置-認知症高齢者の介護からの検討」/「生活困窮者への支援のあり方-生活困窮者自立支援事業を通じて特に課題が多いと感じる40代・50代への生活再建支援」/「児童養護施設における愛着障害の現状と課題-大舎制養護施設における実践をふまえて」/「メイヤロフのケア論についての一考察-岩田靖夫 人間論からの接近」/「中国のコミュニティサービスの課題と今後の展望-中国遼寧省順達社区の事例を通して」/「ソーシャルワークにおける面接とスキル、その実践的展開について-面接についての一考察」/「アダム・スミス『道徳感情論』における「共感」概念の社会福祉的射程」/「地域における高齢者と若者による集いの場が高齢者の日常生活に及ぼす影響に関する研究」/「子ども劇場活動の考察」/「障害者の就労継続のために有効な支援に関する研究-就労移行支援事業所における就労定着支援の現状を通して」

## カリキュラム

## 共通科目

精神健康学特論 保健・福祉研究方法論  
環境保健学特論 コミュニケーション特論

## 経済・経営学研究科の授業科目

経済理論 現代日本企業論  
日本経済史特論 人的資源管理特論  
ワークショップ  
(地方行政論)

## 専攻科目

社会福祉学特論  
社会福祉学演習  
社会政策特論  
社会政策演習  
社会保障特論  
社会保障演習  
社会福祉援助特論(個別)  
社会福祉援助演習(個別)  
社会福祉援助特論(集団)  
社会福祉援助演習(集団)

社会福祉援助特論(地域)  
社会福祉援助演習(地域)  
社会調査特論  
社会調査演習  
精神保健福祉特論  
精神保健福祉演習  
精神保健学特論  
精神保健学演習  
児童・家庭福祉特論  
児童・家庭福祉演習  
高齢者福祉特論

高齢者福祉演習  
権利擁護特論  
権利擁護演習  
国際福祉特論  
国際福祉演習  
社会福祉管理・経営特論  
社会福祉環境特論  
学校ソーシャルワーク特論  
障害者福祉特論  
福祉教育特論

## 指導教員



教授  
いけだ えいじ  
**池田 英二**  
精神医学、精神保健

インターネット依存とストレス対処法、脳機能に関する研究。  
eiji@fpu.ac.jp



教授  
きた あけみ  
**北 明美**  
社会保障論、福祉国家論  
福祉とジェンダー

賃金・労務関係研究を踏まえた児童手当のジェンダー分析を目指しています。  
akemi@fpu.ac.jp



教授  
よしかわ きみあき  
**吉川 公章**  
ソーシャルワーク  
精神保健福祉

精神障害者支援を軸に、ソーシャルワーカーの成長や援助関係がテーマです。  
yoshika-k@fpu.ac.jp



准教授  
いまい ともみ  
**今井 朋実**  
ソーシャルワーク

若年性認知症やHIVなど制度の狭間にある福祉ニーズにおける援助モデルについて検討しています。  
tomomi@fpu.ac.jp



講師  
そうま だいすけ  
**相馬 大祐**  
障害者福祉

身体障害や知的障害のある人の生活の場に関する研究を行っています。  
soma@fpu.ac.jp



教授  
おくにし えいすけ  
**奥西 栄介**  
高齢者福祉、高齢者ソーシャルワーク  
高齢者ケアマネジメント

地域包括ケアシステムや長期ケア施設に関する研究をしています。  
okunishi@fpu.ac.jp



教授  
つかもと としゆき  
**塚本 利幸**  
社会調査、エリア・スタディーズ  
男女共同参画、環境問題

福井の地域特性と、健康や男女共同参画の関係を、統計学的に調べています。  
tukamoto@fpu.ac.jp



教授  
よしむら りんべい  
**吉村 臨兵**  
社会政策  
労働経済論

最低賃金制、契約労働、および公共サービスの労働市場に関する研究。  
rimpay@fpu.ac.jp



准教授  
やまぐち りえこ  
**山口 理恵子**  
権利擁護と民法法則  
成年後見制度

日常生活自立支援事業や成年後見制度等を中心に判断能力が不十分な人々の支援について研究しています。  
rieko@fpu.ac.jp



教授  
かわらい のほる  
**瓦井 昇**  
地域福祉論  
コミュニティワーク

住みよい街づくりを図る、福祉コミュニティ形成の方法論を研究しています。  
kawarai@fpu.ac.jp



教授  
にしじま こうじ  
**西島 浩二**  
保健医療福祉行政論  
保健・福祉研究方法論

羊水成分の変化と胎児消化管成熟との関連に関する研究。  
kojigyne@fpu.ac.jp



教授  
わくら かずひろ  
**輪倉 一広**  
社会福祉学  
社会福祉史

昭和戦前期に活躍したハンセン病救済事業家の実践思想を研究しています。  
wakura@fpu.ac.jp



准教授  
よしひろ じゅんいち  
**吉弘 淳一**  
児童福祉論  
家族ソーシャルワーク論

子どもを取り巻く環境からの視点で子どもの理解に関する研究をしています。  
yoshijun@fpu.ac.jp

# 支援制度

## ■ 長期履修制度

職業を有している等の事情により、2年(後期課程は3年)では履修が困難な場合、2年(同3年)分の授業料で3年または4年(同4年、5年または6年)かけて履修することができます。

## ■ ティーチング・アシスタント(博士前期課程/修士課程)

学部の講義や演習等において、教育補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

## ■ フィールドワーク研修旅費助成(博士前期課程/修士過程)

授業の一環として、実地調査、情報収集等の研究活動を行う場合において、その研修に要する旅費を助成します。

## ■ 教育訓練給付制度(経済・経営学研究所(博士前期課程)/看護福祉学研究所)

一定の条件(雇用保険上)を満たし修了した院生に対し、授業料等の2割(上限10万円)に相当する額をハローワークから支給する教育訓練給付制度の講座に指定されています。

## ■ リサーチ・アシスタント(博士後期課程)

教員が行う研究プロジェクト等において、研究補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

## ■ 学会参加旅費助成(博士後期課程)

研究領域の最新情報の把握と自らの研究成果発表を行う場合において、その学会参加に要する旅費を助成します。

# 入学試験概要

## 【募集人員】

研究科	課程	専攻	入学定員	一般	社会人	外国人留学生
経済・経営学研究所	博士前期	地域・国際経済政策専攻	12名	6名程度	6名程度	若干名
		経営学専攻	12名	4名程度	8名程度	若干名
	博士後期	経済研究専攻	4名	4名		
生物資源学研究所	博士前期	生物資源学専攻	12名	12名程度	若干名	若干名
		海洋生物資源学専攻	12名	12名程度	若干名	若干名
	博士後期	生物資源学専攻	4名	4名		
		海洋生物資源学専攻	4名	4名		
看護福祉学研究所	修士	看護学専攻	10名	10名程度	若干名	若干名
		社会福祉学専攻	6名	6名程度	若干名	若干名

## 【試験科目】

研究科	課程	募集区分	外国語	専門科目	口述試験	小論文
経済・経営学研究所	博士前期	一般	○※1	○	○	
		社会人			○	○※3
		外国人留学生			○	○※3
	博士後期		○※2		○	
生物資源学研究所	博士前期	一般	○※2	○	○	
		社会人			○	○※3
		外国人留学生			○	○※3
	博士後期		○※2		○	
看護福祉学研究所	修士	一般	○※2	○	○	
		社会人			○	○
		外国人留学生			○	○

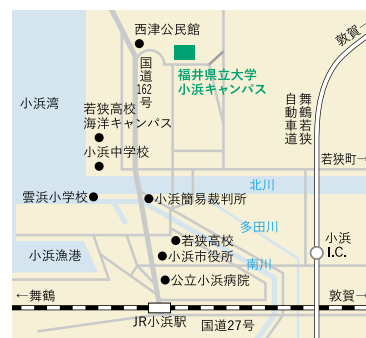
※1 英語・中国語から1科目を選択  
 ※2 英語  
 ※3 事前提出

# アクセスMAP



**永平寺キャンパス**  
 〒910-1195  
 福井県永平寺町  
 松岡兼定島4-1-1  
 TEL 0776-61-6000(代)  
 FAX 0776-61-6011

〈京福バス〉  
 JR福井駅西口バスターミナル  
 1番・27・33・34・35・37系統  
 大学病院線「県立大学」下車  
 (所要時間約40分)  
 〈乗用車〉  
 JR福井駅より約20分  
 北陸自動車道 福井北ICより約10分



**小浜キャンパス**  
 〒917-0003  
 福井県小浜市学園町1-1  
 TEL 0770-52-6300(代)  
 FAX 0770-52-6003

〈コミュニティバス〉  
 JR小浜駅よりバス  
 (あいあいバス)で約10分、  
 「西津公民館前」下車、徒歩15分  
 〈乗用車〉  
 JR小浜駅より約10分  
 舞鶴若狭自動車道  
 小浜ICより約5分



公立大学法人  
**福井県立大学**  
 Fukui Prefectural University